

令和3年度富山県総合防災訓練において臨時災害放送局の開設訓練を実施

総務省北陸総合通信局（局長：蒲生 孝）は、令和3年8月1日（日）、令和3年度富山県総合防災訓練（主催：富山県、滑川市、魚津市等）に参加し、魚津商工会議所及び主会場となった滑川市総合体育センターで臨時災害放送局の開設訓練を実施しました。

当日、魚津市は株式会社新川コミュニティ放送と、滑川市は富山シティエフエム株式会社とそれぞれ連携し、当局が保有する設備を用いて訓練を行いました。各放送ブースから各種訓練の概要や防災啓発情報などについて伝達するとともに、臨時災害放送局で放送した内容は、それぞれのコミュニティ放送局からも同時放送されました。

今回の訓練では、実際の災害時における放送局開設手続きを想定し、電話による免許申請や、当局の免許付与等の訓練についても実施しました。

主会場 【滑川市臨時災害放送局開設訓練】



当局蒲生局長（手前左から2人目）による説明を受ける新田八朗富山県知事（同3人目）



伸縮ポール装備の車両に臨時災害放送局の送信アンテナを設置



滑川市総合体育センターでの放送ブース

魚津会場 【魚津市臨時災害放送局開設訓練】



訓練放送に生出演した村椿晃魚津市長（左）



屋上に設置した臨時災害放送局の送信アンテナ



魚津商工会議所での放送ブース